

区民環境行動講演会

里山の暮らしから 未来を考える

経済活動が活発である現代、価値を持つものは「お金」と考えられています。しかし、貨幣の価値に左右されなかった時代の財産は里山でした。今だからこそ、里山に目を向け、自然を活かし、自然と共生し得る未来を考える必要があるのではないのでしょうか。

講師の澁澤氏は農学博士であり、循環型都市「ハウステンボス」の取締役を務められました。現在は、NPO 法人共存の森ネットワーク理事長として、日本各地の里山に出かけられています。

なお、曾祖父は日本近代経済の重鎮であった澁澤栄一氏です。

日 時：平成 30 年 3 月 1 日（木） 午後 6 時～8 時

場 所：練馬区役所 地下 多目的会議室

講 師：澁澤 寿一氏（NPO 法人 共存の森ネットワーク理事長）

定 員：100 名（先着順）

●申込方法

ハガキ、FAX（申込書は裏面）、または電子メールで、

- ①講演名 ②住所 ③氏名(ふりがな)
 - ④電話番号を明記のうえ、平成 30 年 2 月 26 日(必着)
- までにお申し込みください。

●申込先

〒176-8501 練馬区豊玉北 6 丁目 12 番 1 号
練馬区役所本庁舎 18 階 環境課環境計画推進係
電 話：5984-4702 FAX：5984-1227
メール：kankyoku02@city.nerima.tokyo.jp



主 催：練馬区民環境行動連絡会
練馬区環境課



澁澤寿一氏 略歴

1952 年生まれ。東京農業大学大学院修了。農学博士。

1980 年国際協力事業団専門家としてパラグアイ国立農業試験場に赴任。帰国後、長崎オランダ村、循環型都市「ハウステンボス」の役員として企画、建設、運営まで携わる。

現在、共存の森ネットワーク理事長として、全国の高校生 100 人が「森の名手・名人」や「海・川の名人」をたずねて聞き書きし、発信する「聞き書き甲子園」の事業や「豊森なりわい塾」「石徹白カレッジ」など、森林文化の教育、啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市では 1998 年から木質バイオマスを利用した地域づくり「里山資本主義」の推進に努める。

明治の実業家・澁澤栄一の曾孫。



区民環境行動講演会参加申込書(FAX用)

練馬区 環境課 環境計画推進係 行

FAX:03-5984-1227

① 講演会名	区民環境行動講演会 里山の暮らしから未来を考える	
② 住所	〒	
③	ふりがな	
	氏 名	
④ 電話番号		

※お申込みいただいた方へ、2月中旬以降に案内状をお送りします。

なお、ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。